

パートナーシップを育む社会活動交流会「人生に拍手を」につなぐ ◆開催案内パンフレットに位置づく中核となる言葉

よりよく生きようとする多様性を認め合い、支え合う

ますます混迷する社会情勢の中であって、自己実現のできるよりよい生き方が求められています。本法人では、メンバー相互のよさを出し合い協働し合ってその時々課題に取り組むといった活動を重視してきています。コロナ禍以後、特にメンバー個々のよさを幅広く理解し合い、より緊密に協働することで活動の質を高めるよう努めています。あわせて社会活動の対象となる組織や個々のよさをも共有し、広く人脈を生かしつつ活動の幅を広げています。

お互いの「志」を高め合い、ことを創り繋がる嬉しさ楽しさを味わう

本法人の活動エネルギーの支柱として、カンボジア王国バイヨン中学校での「開校記念事業運動会」の実践が大きく影響していると言えます。本法人メンバーの知見・技能・技術の結集と現地の先生・生徒・地域住民の熱意が合致し、カンボジア流の新たな運動会の実践を可能にしました。40度の炎天下では「練習は無理、無理」、「機材もないし・・・？」などの声をかき消す本法人メンバーの志の高さには、「やるじゃん！高齢パワー！」を感じさせるものがありました。今、本法人メンバーは、それぞれ年齢を加えつつも第2・第3の運動会の再現を夢見て新たなエネルギーの蓄積に精進しています。

支援するも受けるも笑顔「拍手」が肝心、笑顔の数でSDGs17へ

社会貢献を意識する余り過度な成果主義に走ることは、人的・経済的基盤の脆弱なNPO法人にあっては、かえって活動の停滞をもたらすものと考えます。私たちの実践の底流には、「緩く長く、より多くの人と楽しく協働する」があります。毎月実施の定例役員会（役員定数4名）にも随時10数名のメンバーが参集し、笑顔の協議を展開してきています。ここでの笑顔を真っ先に社会活動において発揮・提供することで、さらなる笑顔の創出が期待されます。笑顔が広がる活動こそが、それぞれの『志』の実現を目指し動き出した証であるととらえます。

やがて、「地球志民*」の誰もが拍手の渦中へと導かれてゆくことを念じつつ。

*「地球志民」：夢や希望や期待をもってよりよく生きようとするすべての人たち。

パートナーシップを育む社会活動交流会における連携・協力組織・団体・企業等

- 豊橋日本語学校(豊橋市) ○蒲郡国際交流協会多文化共生部会塩津教室 ○艶栄工業株式会社(蒲郡市)
- カンボジア王国シエムリアップ市バイヨン中学校 ○豊川市国際交流協会
- 蒲郡国際交流協会多文化共生部会塩津教室
- 株式会社 MAKANA(蒲郡市) ○蒲郡ビーチクリーン(蒲郡市)
- 上ノ郷城跡保存研究会(蒲郡市) ○蒲郡市立蒲郡西部小学校
- がまごおり市民まちづくりセンター

本会参加希望の皆様へ

より広くパートナーシップづくりをしてみませんか

ぜひ、お気軽にご参会ください<<参加自由・参加費無料>>